

令和6年度 事後評価シート

【事務事業シート】

1	当初	事項	玉川ダム発電施設管理運営費						予算主管課	河川課		
	事業概要	概要	玉川ダムに設置したダム施設管理用発電設備の保守点検や修繕を行うとともに、余剰電力を売却した利益をダム共同所有者に配分する。						始期	2016		
									終期			
	KPI	KPI	小水力発電機の稼働によるCO2の排出削減量									
			KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度		目標値	474 t-CO2	目標値	474 t-CO2	目標値	474 t-CO2	目標値	474 t-CO2
			実績値	365 t-CO2	実績値	313 t-CO2	実績値	713 t-CO2	実績値	t-CO2	実績値	t-CO2
			ストック/フロー	フロー	達成率	66.03 %	達成率	150.4 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	26,800 千円	最終現計 予算額	25,921 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	14,168 千円	決算額	23,161 千円	決算額	千円	決算額	千円		
6 年度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	発電増強による温室効果ガスの排出抑制にも資する洪水調節容量の一部に流水を貯留する弾力的管理（試行）の運用を実施しているところであり、また、6年度はKPIを達成していることから維持する。									
2	当初	事項	カーボンニュートラルポート形成計画策定事業費						予算主管課	港湾海岸課		
	事業概要	概要	脱炭素社会の実現に貢献するため、県が管理する重要港湾4港（三島川之江港、東予港、松山港、宇和島港）において、カーボンニュートラルポート形成計画（港湾脱炭素化推進計画）を策定する。						始期			
									終期			
	KPI	KPI	対象4港湾の計画策定進捗率									
			KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度		目標値	25 %	目標値	100 %	目標値	0 %	目標値	0 %
			実績値	0 %	実績値	25 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
			ストック/フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	3,401 千円	最終現計 予算額	28,999 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円		
			決算額	3,401 千円	決算額	28,997 千円	決算額	千円	決算額	千円		
6 年度	要因分析	要因 判明予定時期（R7.9月頃判明）										
		総括										
	見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は、7年度繰越し、目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法の見直しは想定していない。									

3	当初	事項	県営住宅共用部電灯LED化事業費							予算主管課	建築住宅課
	事業概要	2050年カーボンニュートラルを見据えた県営住宅における省エネルギー化の推進を図るため、共用部電灯（外灯、共用廊下灯、自転車置場灯など）のLED化改修を進める。								始期	2023
										終期	2026
	K P I	県営住宅共用部電灯の温室効果ガスの年間削減量 ※今後建替予定等の住宅を除く									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	23.88 t-CO2	目標値	47.76 t-CO2	目標値	71.64 t-CO2	目標値	95.52 t-CO2
		実績値	0 t-CO2	実績値	20.81 t-CO2	実績値	38.98 t-CO2	実績値	t-CO2	実績値	t-CO2
		ストック/フロー	ストック	達成率	87.14 %	達成率	81.6 %	達成率	%	達成率	%
		コスト		概算額	77,936 千円	概算額	70,574 千円	概算額	千円	概算額	千円
			決算額	54,520 千円	決算額	60,483 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年 度	要因分析	<p><b>要因</b> 設計委託業務により、改修対象となる照明器具の数量等を精査した結果、目標値の設定時点（概算）とその結果（実績）との間に差が生じたため、目標達成に至らなかった。 数量（概算）：1,207基 → 数量（実績）：1,051基</p> <p><b>総括</b></p>									
	見直し方向性	維持	R6年度に実施した設計委託業務の結果を踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、R7年度・R8年度の見直しは考えていない。								